

1. 定 住 意 識

1-1. 居 住 開 始 時 期

Q 1. 〔カード〕 あなたは、福生市にいつ頃からお住みですか。

図 1-1. 居住開始時期（時系列）

	生まれた時から	昭和29年以前	昭和30年代	昭和40年代	昭和50年以降	(%)
60年調査(812)	16	12	11	22	39	
57年調査(797)	13	12	15	26	34	
53年調査(774)	13	15	20	33	19	

福生市に生まれ育った人は16%と2割に満たない。これに対して、昭和50年以降に転入してきた人は39%で、居住歴の浅い市民層の比重が極めて高い。

年代の区分をさらに細かくしてみると、昭和55年以降に至るまでの各年代の転入率が次第に増えていることがわかる。昭和30年代後半から急増している転入率は「昭和55年～59年」の5年間で23%を占めている。ここ5～6年の間に引越してきた人が福生市民のほぼ4人に1人の割合を占めているということになる。

これを地域別にみると、「生まれた時から」という人はFブロックに29%と最も多く、「昭和50年以降」は団地ブロックを別にしても、やはり団地を含むA、C、Gブロックに多くなっている。CブロックおよびGブロックについては50年前後に区画整理が完了しており、この反映とみることができよう。

図 1-2. 居 住 開 始 時 期

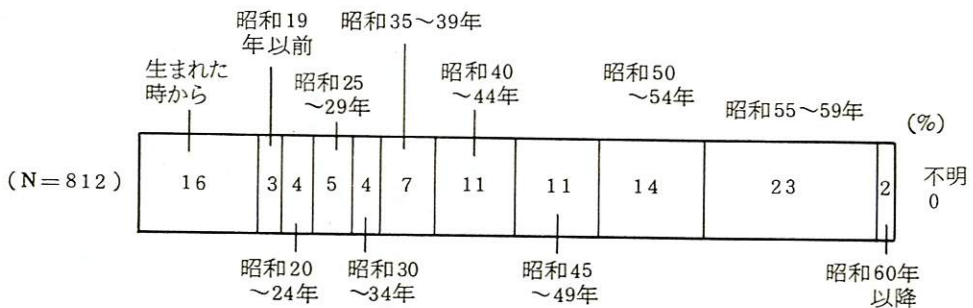


図 1-3. 居住開始時期（地域別）

(N)	生まれ 昭和 昭和 た時 29年 30年 から 以前 代				昭和 40年代			昭和 50年以降			(%)
	9	6	9		26					50	
A ブロック (139)	9	6	9		26					50	
B ブロック (126)	18			14	15		22			31	
C ブロック (94)	12		10	3	12					64	
D ブロック (75)	20			13	8		33			24	1 不明
E ブロック (105)	16			17	13		24			30	
F ブロック (132)	29				21		14	11		26	
G ブロック (141)	8	6		14	28					45	
団地ブロック (119)	2	5			34					59	

1-2. 定 住 意 向

Q 2. [カード] あなたは、今後も福生市に住み続けたいと思いますか、それとも、市外に移転したいと思いますか。この中ではどうでしょうか。

図 1-4. 定 住 意 向 （時系列）

	ずっと住み続けたい	当分の間 住みたい	できれば 市外に移 転したい	移転する わからない (%)
60年調査 (812)	57	23	9	7
57年調査 (797)	62	24	4	6
53年調査 (774)	49	28	8	12

市民の定住意向は「ずっと住み続けたい」と「当分の間住みたい」とを合わせて80%を示している。57年調査では53年調査と比べて1割近くの定住意向の伸びがあったが、今回は「ずっと住み続けたい」という永住意向が57年調査時より5%減少している。

地域別にみると、B、C、Fブロックの定住意向が高く、特に「ずっと住み続けたい」という永住意向がBブロックで66%、Fブロックで70%と高率を示している。逆に、「移転したい」（「できれば市外に移転したい」+「移転する」）という意向を持っている人はA、Dブロックに多くなっているが、今回の調査で全体の定住意向が57年調査と比べて減少したのは、このA、Dブロックの落ち込みによるものである。

人生のいくつかの段階を分類化したものとしてライフステージというものがある。結婚、子どもの成長、子供世帯との同・別居などの観点からまとめられたものであり、これらを契機とした意識や行動の変化は往々にして顕著である。定住意向をこのライフステージ別にみると、まず段階が進むにつれて定住意向が

高くなっていることがわかる。さらに、「当分の間住みたい」という限定的定住は、これから子供が成長していく家族形成期に特に多くなっているが、独身期から家族成長後期に至るまで3割前後の比率を変えていない。

次に、住居形態別にみると、鉄筋・木造アパートの永住意向が低く、公団・公営住宅の定住意向率が一戸建借家よりも高くなっていることがわかる。

また、居住開始時期別にみると、出生時から住んでいる人の中でも年齢によって定住意向に違いがみられ、他から転入してきた人の場合は「ずっと住み続けたい」という永住意向が古い人ほど多く、逆に「当分の間住みたい」という限定的定住意向は新しい人ほど多くなっている。

図1-5. 定 住 意 向 (地域別)

(N)			できれば 市外に移転したい		わからない	
			ずっと住み続けたい	当分の間 住みたい	移転 する	(%)
Aブロック(139)	50	24	13	6	8	
Bブロック(126)	66	19	5	2	9	
Cブロック(94)	48	37	5	3	6	
Dブロック(75)	51	24	20	5	—	
Eブロック(105)	56	19	6	9	11	
Fブロック(132)	70	17	5	—	8	
Gブロック(141)	52	26	13	2	7	
団地ブロック(119)	33	45	11	3	8	

図1-6. " (ライフステージ別)

	(N)				(%)
独 身 期 (105)	36	27	12	10	15
家族形成期 (159)	35	36	15	8	6
家族成長前期 (165)	53	29	7	3	9
家族成長後期 (80)	53	30	11	1	5
家族成熟期 (168)	76	14	5	5	—
老 齢 期 (43)	98				2
老人世帯 (22)	86			9	5

図1-7. " (住居形態別)

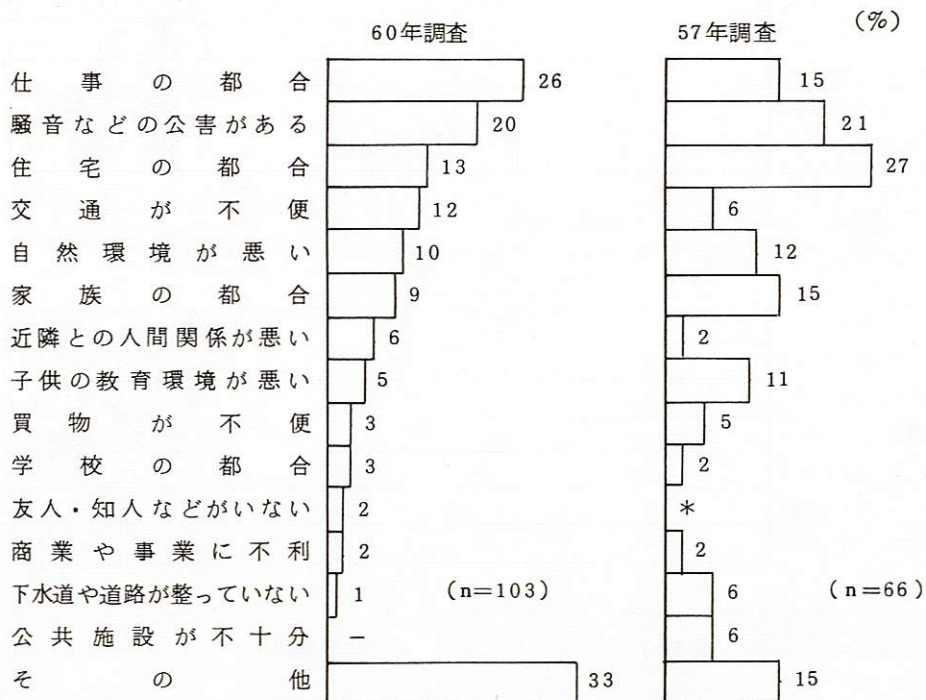
	(N)				(%)
持 家 (471)	71	14	9	1	4
一戸建借家 (92)	42	29	11	7	11
公団公営住宅 (129)	44	41	6	2	6
鉄筋アパート (47)	15	57	9	9	11
木造アパート (42)	17	26	17	17	24
社宅・その他 (31)	42	19	7	10	23

図 1-8. 定 住 意 向（居住開始時期別）

(N)	ずっと住み続けたい	できれば 市外に移転したい			移転 する	わから ない	(%)
		当分の間 住みたい					
出生時から(20～34才)(45)	67	13	9	4	7	1	
出生時から(35才以上)(82)	95				2	1	
昭 和 2 9 年 以 前 (98)	87				7	4	
昭 和 3 0 年 代 (93)	76				16	4	
昭 和 4 0 年 代 (178)	57	24	10	2	7		
昭 和 5 0 年 以 降 (315)	30	37	14	7		12	

2-1. 「次の質問ではカードは見ないでください」 移転したいというのは、どうしてでしょうか。
……他にはありませんか。(M. A.)

図 1-9. 移 転 し た い 理 由



* 「友人・知人などがいない」は今回追加した。

「移転したい」という人は全体で13%(103人)いる。この103人を100%としてその理由をみると、「仕事の都合」26%、「騒音などの公害がある」20%、「住宅の都合」13%、「交通が不便」12%、「自然環境が悪い」10%と多岐にわたっている。57年調査との比較でみると、上位3位

については、「仕事の都合」が増え、「住宅の都合」が減っているが「騒音などの公害がある」はほとんど変わらない。

1-3. 定着パターン

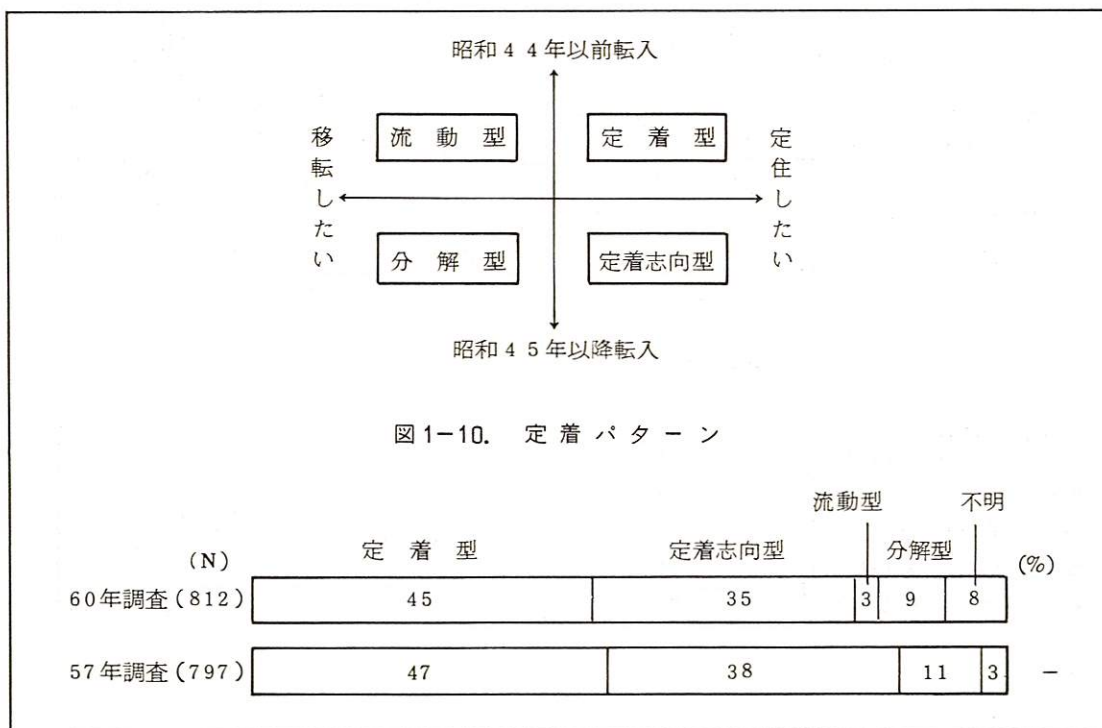


図1-10. 定着パターン

居住開始時期と定着志向とを組み合わせると4通りの定着パターンに分類した。居住開始時期は昭和44年以前か昭和45年以降かで分けたが、その理由は、昭和45年に市制が施行され15年間居住していればほぼ「定着」とみなすことができると判断されるからである。この結果、定着意志がもっとも強いと思われる「定着型」が45%、市制施行後転入してきたが定着意向を持つ「定着志向型」が35%、さらに、15年以上住んでいるにもかかわらずいまだに定住を希望しない「流動型」が3%、昭和45年以降の転入者で定住を希望しない「分解型」が9%となっている。57年調査と比べると「定着型」も「定着志向型」もいずれも2~3%の減少となっている。

地域別にみると、もっとも安定している「定着型」はFブロックが67%でもっとも多く、これにDブロック(55%)、Bブロック(54%)が続いている。また「定着志向型」はA、C、Gブロックと集合住宅だけをとり出してみた団地ブロックに多く、「分解型」はAブロックとDブロックに多くなっている。これらの傾向は57年調査の結果とほぼ同じであるが、「定着型」についてはFブロックの比率が7%もアップし、逆に、BブロックとDブロックがともに10%もダウンしている。

職業別にみると、「定着型」は自営業(68%)がもっとも多く、ついで労務系勤め(41%)、無職の主婦(38%)とつづき、事務・技術系勤め(31%)はもっとも少ないが、これは事務・技術系勤めの人の定着意向が低いことに起因している。

図 1-11. 定着パターン（地域別）

(N)	定 着 型	定 着 志 向 型	流動型				不明 (%)
			分解型	2	5	7	
A ブ ロ ッ ク (139)	32	41	2	17			8
B ブ ロ ッ ク (126)	54	31	2	5			9
C ブ ロ ッ ク (94)	23	62	1	7			6
D ブ ロ ッ ク (75)	55	19	8	17			1
E ブ ロ ッ ク (105)	49	27	7	8			11
F ブ ロ ッ ク (132)	67	21	2	3			8
G ブ ロ ッ ク (141)	35	43	4	11			7
団地ブロック (119)	19	60	3	12			8

図 1-12. " (本人職業別)

自営業（家族従業を含む）(135)	68	20	2	5	4	(%)
事務・技術系勤め(230)	31	43	5	11	10	
労 務 系 勤 め(160)	41	36	2	9	12	
無 職 の 主 婦(206)	38	42	2	13	5	
そ の 他(81)	69	17	6	4	4	